

第5学年外国語科指導案

日 時：令和4年11月24日 公開授業1

場 所：ミーティングルーム

対象学級：5年2組 30名

指導者：菊池真人

1 単元（題材）名

Lesson 6 「My Hero」（開隆堂 Junior Sunshine5）

あこがれの人をしょうかいしよう。

2 内容のまとめり

第5学年

- 1 聞くこと ア
- 2 話すこと [発表] ア

3 単元の目標

自分のあこがれの人を聞いている人に分かりやすく紹介するために、その人のできることや得意なことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。

4 単元について

(1) 児童について

ア 明るく元気な子供たちである。外国語の学習へも積極的に学習に取り組んでいる。これまで、Lesson3 「What do you have on Mondays?」では、自分の好きな教科や自分の将来の夢についてたずねたり答えたりするやりとりの学習を経て、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表する学習をおこなってきている。一方、外国語に対しての不安感、抵抗感を持っている児童も数名いるため、学習へ向かうための配慮が必要である。

イ Lesson2 「When is your birthday?」、Lesson4 「Can you do this?」において、ロイロノートを使用し会話の練習をしたり、発表の様子を録画したりする学習経験がある。

ウ 友達とグループやペアになり、互いに簡単な英語でやり取りを行う力が身に付いてきている。

(2) 教材について

ア 本単元では、自分があこがれる人や、身の回りのがんばっている人について紹介し合うことで、いろいろな人のよさを知ったり、自分もがんばろうという気持ちを持ったりすることを目指させる教材である。

イ これまで概ね自分と話し相手についての会話が主体であったが、本単元では第三者ができることについて紹介することで、表現の幅を広げることができる。また、他教科で学んだ歴史上の人物や、自分が知っている現代社会のさまざまな場で活躍している人々についての知識を生かすことも期待できる。

(3) 指導について

ア 本単元における言語活動の特徴など

代名詞 (he,she) を使って、自分があこがれている人について書き、発表できるようにしたい。

< 言語材料 >

- He(She) is my hero.
- She is good at table tennis.
- Who is your hero?
- I(He She) can~(kick,see,dance etc)
- This is~

イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫など

本校外国語科で身につけさせたい力「身近な事柄について、自分の考えを相手に伝わりやすいように表現を工夫する力」を実現するために、本単元では、「自分のあこがれの人を相手に伝わりやすいように表現を工夫する力」を育てていきたい。

その中で、「主体的な学び」を実現するために、本単元では「あこがれの人」を同じクラスの友達に紹介する学習をする。同じクラスの友達に紹介し合うことで、お互いをより知る手がかりとなることが期待できる。紹介するに当たっては、誰を紹介するか、なぜその人を紹介したいのかを考え、どうすればより分かりやすく紹介できるかを考えながら取り組ませたい。

「深い学び」では、あこがれの人を伝えるまでに必要な単語や会話を、何度も繰り返し話したり聞いたり書いたりすることで、英語への不安をできるだけ取り除くことで、相手に伝えられる楽しさや、伝えられたという喜びにつなげていきたい。

ウ 研究の手立てとのかかわり

電子黒板にデジタル指導書を投影することで、視覚化を図る。ロイロノートを用いて様々なカードを動かしたり、打ち込んだりする活動を行う中で焦点化を図る。自分のあこがれの人について記録に残し、発表時に活用することで視覚化・共有化を図る。あこがれの人を紹介する際、画面から児童全員に伝えられる良さを実感させたい。また、分からない単語などがある場合には、Google 翻訳を使用し、自分自身で調べる体験から、主体的に学ぶ一助としたい。

5 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|---|--|
| 聞くこと | <p><知識> 動作を表す語句や, He[She] can ~., He[She] is good at ~., Who is ~?, その答え方について理解している。</p> <p><技能> 第三者ができることや得意なことなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p> | | |
| 話すこと | <p><知識> 動作を表す語句や, He[She] can ~., He[She] is good at ~., Who is ~?, その答え方について理解している。</p> | <p>自分のあこがれの人についてよく知ってもらうために, その人のできることや得意なことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p> | <p>自分のあこがれの人についてよく知ってもらうために, その人のできることや得意なことなどについて, 自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p> |

| | | | |
|------|---|--|--|
| 〔発表〕 | <技能> 話すこと・発表できることや得意なことなどについて、動作を表す語句やHe[She] can ～., He[She] is good at ～.などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 | | |
|------|---|--|--|

6 指導と評価の計画（6時間）

| 時 | 目標◆・活動○ | 評 価 | | | |
|-----------|---|--------|-------------|--------|---|
| | | 知 技 | 思 判 表 | 態 度 | 評価規準〈評価方法〉 |
| 1 | ◆教師やジムのヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解しよう。 <input type="checkbox"/> インストラクション <input type="checkbox"/> スモールトーク <input type="checkbox"/> Let's Chant <input type="checkbox"/> Let's Listen2 <input type="checkbox"/> Let's Watch and Think <input checked="" type="checkbox"/> ICT（視覚化・焦点化） | | | | 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 |
| 2 | ◆ALT や和矢のヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解するとともに、できることを表す表現に慣れ親しもう。 <input type="checkbox"/> 前時の復習 <input type="checkbox"/> スモールトーク <input type="checkbox"/> Let's Listen3 <input type="checkbox"/> Let's Watch and Think2 <input type="checkbox"/> Let's play5 <input checked="" type="checkbox"/> ICT（視覚化・焦点化） | | | | 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 |
| 3 (本時) | ◆ハンナのヒーローについての話を理解しよう。 <input type="checkbox"/> 前時の復習 <input type="checkbox"/> Let's Listen4 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・ハンナのヒーローについての短い話を聞き、聞き取ったことをロイロノートに打ち込んだり書き込んだりする。 </div> <input checked="" type="checkbox"/> ICT（視覚化・焦点化） | 聞 | | | 本時では、〔話すこと（発表）〕については記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「聞くこと」の記録に残す評価 ◎ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 ・児童が聞き取る様子やロイロノートの記述を分析し、評価の記録を残す。 </div> |

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| 4 | ◆自分のヒーローについてのスピーチ原稿とプレゼン資料を作成しよう。 | | | |
| | ○前時の復習 ○Let's Listen5 ○Let's Read and Write ICT (視覚化・焦点化) | | | 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 |
| 5 | ◆自分のヒーローについての発表練習をしよう。 | | | |
| | ○ミニレッスン ・前時の復習をする。 ○ペアや班で発表練習をする。 ICT (視覚化・焦点化) | 発 | 発 | 発 |
| | | | | 「話すこと」の記録に残す評価 ◎自分にとってのヒーローについて発表練習をしている。(行動観察) ・児童が伝え合う様子を観察し、評価の記録に残す。 |
| 6 | ◆自分のヒーローを発表しよう。 | | | |
| | ○ミニレッスン ・前時の復習をする。 ○自分にとってのヒーローについての発表会をする。 ICT (視覚化・焦点化) | 発 | 発 | 発 |
| | | | | 「話すこと」の記録に残す評価 ◎自分にとってのヒーローについて発表をしている。(行動観察) ・児童が伝え合う様子を観察し、評価の記録に残す。 |

7 本時の指導 (3時間目/全6時間)

(1) 目標

ハンナのヒーローについての話を理解しよう。

(2) 展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 (◇評価) |
|-----|--|--|
| 導入 | 1 挨拶 2 前時の復習 ・これまで学習してきた文、単語の復習をする。 3 課題確認 | ・スムーズな挨拶ができるように、黒板に表記したり事前に練習をしたりする。 ・デジタル指導書を使ってテンポ良く復習を行い、楽しみながら学習できるようにする。 |
| 15分 | ハンナのヒーローについての話を理解しよう。 | ・あらかじめ単元計画を掲示し、学習内容とゴールの見通しを持たせ、児童が本時で何をやるか迷わない手立てとする。 |
| 展開 | 4 課題解決 (1) ハンナのヒーローについての会話を理解する。 ①ALT の話している内容を聞き取り、どのようなことを話しているかをおおよその内容をつかむ。 ICT (視覚化) | ・活動中は児童に積極的に言葉がけややりとりを行い、児童が活動に浸ることができるようにする。 |

| | | |
|---------------------|---|---|
| 25分 | <p>②ハンナのヒーローに関するクイズを解き、内容の理解を深める。</p> <p style="text-align: center;">ICT (視覚化・焦点化)</p> <p>(2) Myhero 紹介ゲームをする。</p> <p style="text-align: center;">ICT (視覚化)</p> | <p>◇ハンナのヒーローについての話のおおよその内容を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が聞き取る様子やロイロノートの記述を分析し、評価の記録を残す。 ・変化のある活動を繰り返し行うことで、児童に本単元でつけたい言語感覚を身に付けられるようにする。 |
| <p>終末</p> <p>5分</p> | <p>5 ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにふり返りを記入する。 <p>6 次時の予告</p> <p>7 挨拶</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のふり返りをするすることで、次時に向けての成果と課題を考える手立てとする。 ・次の学習の見通しを持つ。 |

(3) 板書計画及び電子黒板などの計画

ア 板書

Lesson 6 My Hero 自分のヒーローについて発表しよう

ハンナのヒーローについての話を理解しよう。

カードを掲示する。

イ 電子黒板

